

緑化だより

No.108 平成27年8月号



ホウオウゴケ

- 緑化センターの希少な樹木(16)
- 野鳥の世界(アオシギ)
- 病虫害の話
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



緑化センターの希少な樹木

No. 16 サイカチとシナアブラギリ

サイカチは、何と言っても木全体にとげがある（写真）ことが特徴です。まるで近寄っては いけませんよ、とアピールしているようです。このとげは枝が変形したもので何回も枝分かれを繰り返します。本種が少ないのは、種子を散布するナウマンゾウが絶滅したためというユニークな説もあるようです。花は5～6月ですが、さやが種子を包む果実は大いもので30cmにもなり、ねじれてくねったさやが多数ぶら下がります。苗畑内にあるのは小葉柄などに毛が多いアメリカサイカチです。ご覧になりたい方は管理事務所までお申し出ください。



アメリカサイカチ

シナアブラギリは、葉がキリに似ていて、種子から油（桐油）を採ったのでこの名がついたようです。また中国に自生する種のため、シナという名がつけられました。花や実は一アブラギリより大きく、また葉身基部の蜜腺は柄がないことがアブラギリとの明瞭な区別点です。アブラギリの蜜腺には柄があります。サクラの開花を思わせるほどの花を咲かせます。花期は長くソメイヨシノが咲き終わったころから目立ち始めます。上と同様、苗畑内に1本ありますので、ご覧になりたい方は管理事務所までお申し出ください。（川上）



シナアブラギリ

野鳥の世界

アオシギ

海岸地域に季節的に棲みつクシギは数えきれないほどの種類があり、それぞれの特徴を覚えることは至難の業です。しかし、河川や陸に棲むシギの種類は極端に少なく五本の指で足りるほどです。その中でもアオシギは冬の渡り鳥として北方から中国東北部、沿海州、遠くはアムール川流域から飛来して山里の流れや湿地に定着します。広島でも過去、芸北地方や八幡川、美土里町（野々原）付近で確認されています。



アオシギ

褐色に近い茶色と白の斑紋で、体長30cmくらいの鳥は、水際のクサヨシやタガラシ、セリの間をゆっくりした動作で餌を探していることが多いため、見つけるのは大変困難です。

湿地や溪流では氷結しない限り、水温の低下が少なく外気温より暖かく保たれるため、新芽の育ちも早く、その中に生きる水生昆虫も多いことが水鳥の好餌場となっています。

緑化センターに来るのはヤマシギですが、源流に近い湿地を餌場に行っているため、神経を集中して探さないと出会うことは難しいようです（吉見）

病虫害の話

スリップス(アザミウマ)

気温が高くなり蒸し暑くなる頃、鉢植えや、軒下で雨があまり当たらない場所にある植物の花や葉の表面が、茶色に変色したり、白い斑点やすじが入り、しばらくすると褐色になり、次第に広がって枯れていることがあります。この頃には、黒い粒が葉上に付着しています。加害が著しい場合は、葉が委縮し、成長が阻害されることもあります。よく見ると、葉裏や花弁に、体長1~2mm位の黒っぽい細長い虫が動いているのが観察されます。

アザミウマの名前の由来は、アザミの花をトントンたたき「馬だよ、牛だよ」と言って、花の中から出てくる虫の数を競い合う遊びから来ているとの説があります。

スリップス(アザミウマ)は、休眠しないので適温であれば年中増殖しますが、高温乾燥となる5~6月に活発に活動し始め、初秋まで増殖を続けます。成虫の雌1匹は150~300個産卵するため、1か月後には300倍になります。ハダニと同様に、未交尾で産卵したものはすべて雄になり、受精したものは雌になります。

生活環は、卵→幼虫→サナギ→成虫の期間は20日くらいで、卵から幼虫の時期は葉上ですごし、サナギの時期が近づくと地面に移動します。

土の中で過ごしたサナギは羽化して地上に出て成虫となります。成虫の寿命は約30日で上記のサイクルを繰り返します。

防除の方法としては、①葉水をするこゝである程度防除できる、②浸透移行性の粒剤を定期的に散布し土中に移行する際に殺虫する、③砂糖を200~500倍に希釈し、有機リン剤を溶かした液を噴霧すると這い出して舐めて死滅する、④成虫は青色や黄色に誘引されるため、粘着トラップを用いる、などの方法があります。（山根）



シンビジュームの被害状況



ギボウシの被害状況



スリップス(アザミウマ)の成虫

研修会のご案内

- | | |
|--|--|
| <p>○ 8月 1日(土) 『木の実で自由工作』
どんぐりなど、自然の素材で自由発想な夏休み
※ 要予約(先着 10組) 無料</p> | <p>10:00~12:00 学習室 集合
講師：環境カウンセラー
正本 大</p> |
| <p>○ 8月 2日(日) 『気象予報士大隅智子の
季節のお話』
熱中症や気象災害について</p> | <p>10:00~12:00 学習室 集合
講師：気象予報士
大隅 智子</p> |
| <p>○ 8月 9日(日) 『夏休み木工教室』
スギの間伐材で小さいイスを製作
※ 要予約(先着 20組) 材料費 1,000円</p> | <p>10:00~12:00 学習室 集合
講師：ゆうもあファクトリー
岡部 茂</p> |
| <p>○ 8月 30日(日) 『秋の七草教室と
自然探勝』
七草の共通点はなんだろう？</p> | <p>10:00~12:00 学習室 集合
講師：環境省希少野生動植物種保存推進員
吉野 由紀夫</p> |

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

統一愛称募集” 応募締切り 8月31日(月)

広島県緑化センターと広島市森林公園、2つの施設を統一した愛称を募集しています。名付け親になりませんか？
詳細はホームページをご覧ください。
(応募は直接「統一愛称募集係」へ)

クールシェア実施中

～9月18日迄(月～金) 13:00～16:00

涼しい緑化センター(レストハウス)でスタンプを集めて下さい。

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・くすだま人形作品展

～8月30日(日)

(ボード展示)

・日本画「遊」作品展(馬木公民館)

～8月23日(日)

・野鳥写真展

8月26日(水)～9月27日(日)

※8月は月曜日が休園日です

土・日・祝日は午後5時まで

時間延長して開園します



くすだま人形作品展より



日本画「遊」作品展より